

みんなでぎゅうっ

マンガ / コビキルイコ

わが家のすこやか日記

作品

小学生部門

私は五年生になって自分の部屋ができた。あこがれだった自分の部屋だ。夜はベッドで一人だねるようになった。けれど、今年の夏は暑かったので、夜はエアコンのきいた部屋に家族みんなで布団をならべてねた。一つの部屋に家族五人分の布団をならべると、ぎゅうぎゅうづめだ。でも、なぜかこ

のぎゅうぎゅう感が心地いい。お父さんのいびきがどんなにうるさくても、ねぞうの悪い弟の足が顔にのっかっても私は、家族みんなでねれるのがうれしい。今はすずしくなつて、自分の部屋で一人だねているけれど、また、時々家族みんなでいっしょにねたいな。ぎゅうっとなつて。

